

えーっ!?

どうなってるの?

「100円たんけん」

中川ひろたか ぶん 岡本よしろう え
くもん出版 (Eオ)

みんなだいすき100円。100円あつたら、なにがかえるかな?

「ホネホネたんけんたい」

西澤真樹子 監修・解説 アリス館 (K481ホ)

このホネだれのだ?ホネの世界はふかく、おどろきにみちている。隊長とともにホネホネたんけん隊、しゅっぱーつ!!

さらにたんけんしたい人には

「^た食べて^{はじ}始まる^{しょくたく}食卓の^{たんけん}ホネ探検」

盛口 満 文・絵 少年写真新聞社 (K481モ)
も おすすめです。

「どうなっているの?」

だんめん図鑑」小学館 (K500ダ)

いろいろなものを半分に切ってみよう。アイロン、カップめん、サッカーボール、それから……。中はどうなっているのかな?

「3びきのかわいいオオカミ」

ユージーン・トリビザス 文

ヘレン・オクセンバリー 絵 富山房 (Eオ)

3びきのかわいいオオカミは、いっしょうけんめいたてたうちをおそろしいぶたになんどもこわされてしまいます。そこで、さいごに3びきははなでおうちをつくりました。さて、どうなったかな?

「みにくいシュレック」

ウィリアム・スタイグ文と絵

セーラー出版 (Eス)

へびやけものですら、おそろしくてにげだすほどみにくいシュレック。^{ましよ}魔女のうらないで^{しろ}お城へ行って、^{せかいいち}世界一^{おうじよ}みにくい王女さまと^{けっこん}結婚します。

「さかさ町」

F・エマーソン・アンドリュース 作

岩波書店 (K933ア)

^{きしゃ}汽車のたびのとちゅう、^{じこ}事故でしらない町にとまることになった。その町の名は「さかさ町」。その町ではなんでも「さかさま」で……。

なんだか さかさま?



おすすめ

の

ほんだな

しょうがく ねんせい
小学3,4年生むけ

第15号 (2020年版)

さくらしりつとしょかん

佐倉図書館 485-0106

志津図書館 488-0906

佐倉南図書館 483-3000

「くまっぺいいにおい」

ゆもとかずみ 文 徳間書店 (K913 ユモ)

「くまっぺいいにおい」とみんなからいわれるくまですが、それがいやで、においをけしてもらいます。でも、だんだんくまは元気がなくなってしまいます。

「としょかんライオン」

ミシェル・ヌードセン 作 ケビン・ホークス 絵 岩崎書店 (Eホ)

いつもしずかなとしょかんにライオンがはいてきてビックリ。でもこのライオンはおぎょうぎがよくて、とってもやさしいので、すぐにみんなとなかよしに。ところがある日とつぜんガオーと大声をだしました。いったいどうして？

「くぎになったソロモン」 (Eス)

ウィリアム・スタイグ 作 セーラー出版

くぎに変身できるようになった子ウサギのソロモン。あるとき、ナイフをもったネコにくぎのすがたでつかまってしまいます。うさぎのすがたにもどったらたべられちゃう！どうするソロモン。

「ひまなこなべ アイヌのむかしばなし」

萱野 茂 文 どい かや 絵 あすなる書房 (Eド)

アイヌの国のくまの神さまをおきゃくとしてむかえるうたげにいつもおどりが上手なわかものがいました。くまの神さまは、そのわかものがだれか知りたくてたまりません。

「そこから逃げだす魔法のことば」

岡田 淳 作 借成社 (K913 オカ)

ぼくのおじいちゃんはすごい！こたつにすむ妖怪から逃げだし、いっすんぼうしになって冒険し、安全ピンで海賊をたおす、おじいちゃんのみみつのはなし。

「かもさんおとおり」

ロバート・マックロスキー ぶんえ

福音館書店 (Eマ)

かものこどもたちがかわのなかのしまでうまれました。少しおおきくなったひなたちは、こうえんのいけへおひっこしです。一れつになってまちなかへ。

本の中から たんけん！はっけん！

「おかしなゆき ふしぎなおおり」(K451 カ)

片平 孝 写真・文 ポプラ社

パンケーキやコックさんのぼうしみたいな形につもったゆき。こおってしまったたき。ゆきとこおりがすてきなせかいをみせてくれます。

かたちをかえるみず

「ひとしずくの水」

ウォルター・ウィック 作 あすなる書房 (K435 ウ)

とびはねる水、まるくなる水、水のいろいろな形を紹介しします。

「ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？」

ロバート・E・ウェルズ さく (Eウ) 評論社

ホッキョクグマがくらしている北極海は海にうかぶ氷ですっぽりおおわれている。今、北極海は、氷がとけだしている。どうしてなの？

「わたしたちの家が火事です」

ジャネット・ウィンター 文・絵 鈴木出版(Eウ)

世界中の天気がおかしい。手おくれにならないうちになんとかしなくては！声をあげた女の子のおはなし。

「りんごかもしれない」

ヨシタケシンスケ 作 ブロンズ新社 (Eヨ)

テーブルのうえにりんごがおいてあった。・・・でも・・・もしかしたら これはりんごじゃないのかもしれない？

「かようびのよる」 (Eウ)

デヴィッド・ウィーズナー 作・絵 徳間書店
かようびのよる。しずかに、だが たしかに何かがおこりはじめた……。それは……。